本研究シーズ集におけるSDGsゴール記載の狙い

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、国連に加盟する世界193か国が合意した17の目標、169のターゲットのことです。貧困等の途上国を中心とした社会課題の解決のみならず、気候変動等の先進国・途上国共通の社会課題の解決を含め、2030年までに達成すべき目標が設定されています。

【Goal 1】 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

【Goal 2】 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

【Goal 3】 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

【Goal 4】 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

【Goal 5】 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

【Goal 6】 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

【Goal 7】 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

【Goal 8】 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

【Goal 9】 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

【Goal10】 各国内及び各国間の不平等を是正する

【Goal11】 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

【Goal12】 持続可能な生産消費形態を確保する

【Goal13】 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

【Goal14】 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

【Goal15】 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

【Goal16】 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

【Goal17】 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

SDGsにおいて重要な三つのキーワード
「地球規模」、「バックキャスティング」、「誰一人取り残さない・置き去りにしない」

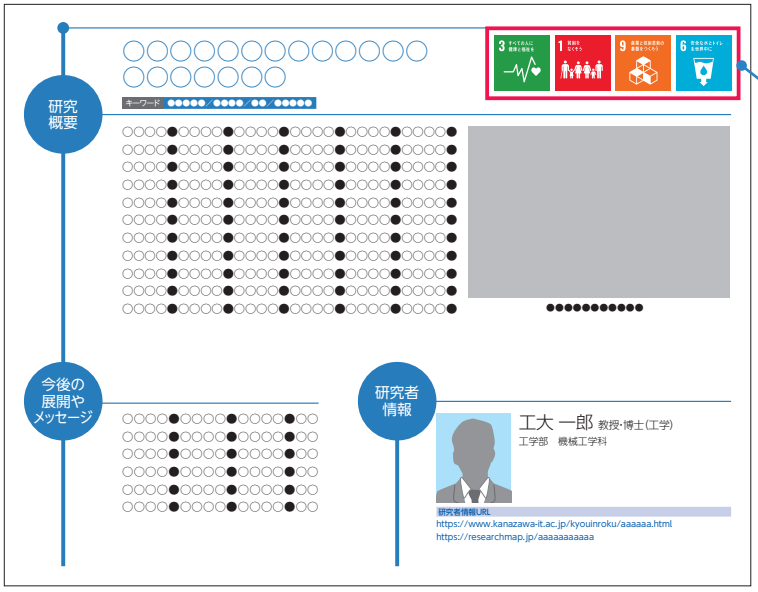
SDGsのキーワード	概　　要
地球規模 Global scale	2030年に向け、地方創生も次のステップへの移行が求められており、ローカルな課題の解決に取り組むことと、同じ課題を抱えている別の地域にも役立てるグローバルな取り組みへと進化させていくことが必要です。私たちの身近な生活環境や経済活動の活性化と、気候変動等の国や地域を超える地球規模課題の解決の両立を実現する研究が求められています。
バックキャスティング Back-casting	世界的に、既存技術の発展の延長上には持続可能な未来は存在しないことが指摘されています。そのため、まずあるべき未来を描きそこから逆算することで、現状の延長上にない未来を創造するバックキャスティング思考が求められています。このバックキャスティング思考により、人類の大きな飛躍を実現する研究が求められています。
誰一人取り残さない・置き去りにしない No one will be left behind	一部の人にしか使えない技術や事業は、対象とならない人に悪影響を与える可能性があります。また、特定の課題を解決する技術が他の課題を生み出すこともあります。2030年に向け、あらゆる人が便益を得られ、トレードオフを引き起こさない研究が求められています。

研究シーズ集では、全ての研究とその研究に関連するSDGsのゴールを記載しています。しかしながら、研究の中には、既にSDGsに貢献している研究もあれば、今後SDGsに貢献する研究への発展を目指す研究もあります。

こうした状況の中で、全ての研究とSDGsとの紐づけを行った最大の理由は、持続可能な社会の形成を目指したパートナーシップの拡大にあります。

大学の研究は専門的なものが多く、一つ一つの目的を理解するのに時間を要する場合があり、その状況がパートナーシップの形成を阻害している可能性があります。金沢工業大学では、世界の共通言語であるSDGsはこうした状況を打破する力があると信じています。研究者自ら研究とSDGsのゴールを結び付けることで、誰でも研究の目的を一目で理解することが出来るようになることが期待されます。そして、既にSDGsに貢献している研究はもちろんのこと、今後SDGsに貢献する研究への発展を目指す研究においても、その発展に必要なパートナーとの出会いを生み出すことができると考えています。

是非、皆様が関心を持っているSDGsに貢献する研究を研究シーズ集の中から発見し、持続可能な社会を生み出すためのパートナーシップを形成するために“共同研究”“委託研究”などのご相談をいただけますと幸いです。



各研究シーズのタイトル横に関連するSDGsゴールが記載されています。

記載順は関連度合いが高い順となります。